

## 偶然か？ 奇跡か？ 運命か？ 9期鈴木

73年間の人生で、ワンゲル関係③件、元勤務先関係④件の、偶然？奇跡？運命？なる経験をしたのを告白する。

- ① 独自に登山していた者同士(私と9期木下さん)が北穂高小屋で同日同時刻にバッタリ。
- ② 山の手線渋谷駅ホームで乗車する私と下車する9期三浦さんと同日同時刻にバッタリ。
- ③ シニアOB特別会員の浅井さんと上野駅のトイレで同日同時刻にバッタリ。
- ④ オーストリーのベルーナ通りで元同僚矢口さんと同日同時刻にバッタリ。
- ⑤ 常磐線柏駅のトイレで大町工場の元同僚田中さんと同日同時刻にバッタリ。
- ⑥ ロンドンヒースロー空港、別々の乗り継ぎ時の控室で元同僚高松さんとバッタリ。
- ⑦ ミュンヘン空港、別々の目的で動くも搭乗ゲートにて元同僚の佐藤さんとバッタリ。

ではもっと詳細に紐解いてみる。

- ① の事例は、1976年の夏の出来事。私は1971年に大町工場に赴任し、1973年に結婚し、義父から大キレットを縦走したいと願望され、槍ヶ岳から穂高連峰に向かい、北穂高小屋に着き、ザックを下ろしていたら、何と9期の木下君と偶然会ったのだ。でもよくよく考えてみると、山好きの仲間であり、夏の登山シーズンなのでお互いに会うのは不思議ではないとその時は思った。



北穂高小屋から大キレットを遠望

- ② の事例は、年月は忘れたが、多分2005年以降かと思っている。私は横浜へ行く用事があり、渋谷に立ち寄った。一方、三浦君は藤沢から東京方面に用事があって出てきたような。でも全くの同じ電車、しかも乗車口まで同じとは不思議な出会いである。この話にはオチがある。私はこの出逢いで何かいいことがあると信じて、横浜駅ダイヤモンド街の宝くじ売り場（一等が良く当たる有名なところ）へ直行して購入したら、後

日、当選番号が組違いの当たり宝くじだったことが判明・・・不思議！不思議！



渋谷駅ホーム（山の手線）



横浜ダイヤモンド街宝くじ売り場

③ 浅井さんは武蔵野線沿線に住み、私は常磐線の柏駅を經由して上野に度々出かけているので、両人は上野駅で遭遇するのは可笑しくはない。でも、よりによって同じトイレとは不思議なご縁であろうか。まさに連れションである。

④ これぞ、奇跡といえる出来事であろう。私たち夫婦は1999年から異国ポルトガルに6年間住みつくことになったが、ウィーン国立歌劇場にてオペラを鑑賞すべく当地に向かった。シュテファン大聖堂の近くのホテルに着き、食事を採ったあと散歩に出掛け、日本の銀座通りに相当するケルナ通りを歩いていた。何と25年前に勤務していた同僚の矢口さんが歩いているのではないか。お互いにそれはビックリ。矢口さんは、ウィーンに来る前にフランスに行き、会社から派遣され留学してお世話になった教授を訪ねてお礼を言ってきて、遊びでたまたまウィーンに来たと言っていた。勿論、美味しいチョコとお茶で暫し歓談したのは言うまでもない。



シュテファン大聖堂



ウィーン市街地



ケルナ通り

⑤ 大町時代に後輩として配属され、人事担当をしていた田中さんは、東武野田線の新柏駅下車のマンション住まい。一方私は同じ東武野田線の逆井駅(両駅間には増尾駅があるだけ)下車であり、両者はいたって近距離であり、会う機会は大きいと思われる。

- ⑥ 1999年我々夫婦はポルトガルに赴任のためビジネスクラス(以降エコノミークラス)でロンドンヒースロー空港、乗り継ぐために特別控え室にいた。何とお世話になった高松さんが社用で南アフリカへ出張の由。偶然会ったが、我々は以降この空港を使っていないし、南アフリカへはこの空港しか乗り継ぎできないことが分かった。



ロンドンヒースロー空港ラウンジ

- ⑦ 我々はここ10年、年一回の欧州旅行をしているが、2012年頃かミュンヘンにオペラを観るべくミュンヘン空港に降り立った。同日同時刻に商用で来ていた元同僚と搭乗ゲートでバッタリ。



ミュンヘン空港

ところで、ネットで「偶然」、「奇跡」、「運命」の違いを調べると以下の通り。

- 「偶然」:何の因果関係もなく予期しない出来事が起こる様。  
副詞として使う場合:ふと、たまたま、はからずもの意。
- 「奇跡」:起こりうる可能性がとても低いにもかかわらず発生した出来事。  
または原因不明の神秘的な出来事を指す場合もある。
- 「運命」:すでに確定された出来事が起こること。  
人の意志に関わりなく身の上に降りかかる出来事。

上記7事例は、果たして何に相当するのだろうか。